

「富山県地域交通ビジョン」の目標指標の進捗状況について

資料3-2

	目標指標	ビジョン策定時		現状 (平成28年12月現在)		目標 (H37まで)	備考
域内交通	地域交通計画を策定している市町村数	6市町村	富山市、高岡市、魚津市、滑川市、黒部市、小矢部市	6市町村	富山市、高岡市、魚津市、滑川市、黒部市、小矢部市	15市町村	・地域公共交通活性化再生法に基づく「地域公共交通総合連携計画」又は「地域公共交通網形成計画」を策定している市町村数。
	公共交通空白地域	市町村ごとに一部存在		市町村ごとに一部存在	6市町(富山市、高岡市、滑川市、黒部市、南砺市、入善町)が公共交通空白地域を定義している。	できる限り解消	・公共交通空白地域については、国でも明確な定義を定めていないため、各市町村が地域の実状に応じて該当する地域を定義している。
域間交通	幹線鉄道の運行間隔 (最大運行間隔の短縮)	1.5時間～2時間程度		1.5時間～2時間程度	利用者の少ない時間帯においては、時間間隔が1時間を越えている。	概ね1時間程度	・ダイヤの空白時間帯が1時間を越えると非常に利用しにくくなることから、最大の運行間隔を1時間以内にするという目標を設定。
広域交通	観光客の県内交通機関の満足度	49%	富山県観光客動態調査 (平成27年3月)	55%	富山県観光客動態調査 (平成28年3月)	70%	・県観光課「観光客動態調査」の県内交通機関の満足度調査のうち、「大いに満足」と、「満足」を合計したもの。
	新幹線駅に地域交通で1時間以内にアクセスできる県民の割合	90%程度	新幹線駅に地域交通で1時間以内にアクセスできるエリアに居住する人口の割合	90%程度	新幹線駅に地域交通で1時間以内にアクセスできるエリアに居住する人口の割合	できる限り高める	・利便性のよい朝のダイヤを想定し、最寄の新幹線駅に地域交通を利用して1時間以内にアクセスできる地域に居住する人口から算定
交通環境の整備	全国相互利用可能な交通ICカードの鉄軌道・バス数	1路線	あいの風とやま鉄道	1路線	あいの風とやま鉄道	できる限り増やす	・JR西日本が平成29年4月末に城端線新高岡駅で交通ICカードを導入する予定。
	ノンステップバス導入率	53%	移動円滑化基準適合車両導入状況(国土交通省調査、H26.3.31現在)	54%	移動円滑化基準適合車両導入状況(国土交通省調査、H28.3.31現在)	80%以上	・国では、「総車両数約6万台からバス車両の構造及び設備に関する移動等円滑化基準の適用除外認定車両約1万台を除いた約5万台のうち、約70%に当たる約3万5千台について、平成32年度までに、ノンステップバスとする。」としている。
	バスロケーションシステムを導入している事業者数	6事業者	射水市、魚津市、黒部市、朝日町、富山地方鉄道、加越能バス	6事業者	射水市、魚津市、黒部市、朝日町、富山地方鉄道、加越能バス	できる限り増やす	鉄軌道に比べ定時性に劣るバスの利便性確保のため、運行状況が把握できるバスロケーションシステム導入推進が求められている。
関係者の連携による取組みの推進	ノーマイカー運動の参加者で、地域交通に切り替える意向のある者の割合	23%	ノーマイカー運動参加者に対するアンケート(H26)	18%	ノーマイカー運動参加者に対するアンケート(H28)	できる限り増やす	・「県・市町村統一ノーマイカー運動」の参加者アンケートで「ノーマイカー通勤」を今後継続するかの問いに対して、「公共交通の通勤に切り替える」と「自主的にできるだけ継続したい」との回答を合計したもの
	地域交通乗り方学習の実施市町村数	2市	富山市、高岡市	2市	富山市、高岡市	15市町村	・小学生を対象としたのりもの教育のための教本の作成や教育プログラムの実施、のりもの教育を取り入れた社会科見学等の公共交通の利用に関する教育を実施している市町村数。